

地球温暖化防止対策の推進

～二酸化炭素等の排出量の削減～

【重点分野の目標の達成状況】

■二酸化炭素等温室効果ガス排出量の削減

【目標：排出量を1990年レベルに比べ6%削減】

2008年度の市内の温室効果ガスの総排出量は、基準年度と比べ13.9%の減少

本市では、「川崎市地球温暖化対策地域推進計画」や2008年2月に公表した「カーボン・チャレンジ川崎エコ戦略」(CC かわさき)に基づき、全市をあげて地球温暖化対策に取り組んでいます。2010年度には、地域推進計画を改定し、基本計画及び実施計画からなる川崎市地球温暖化対策推進計画を策定しました。

川崎市地球温暖化対策推進計画(CCかわさき推進プラン)の制定

CCかわさき推進プランは、基本計画と実施計画から構成されています。基本計画は10年間を計画期間として地球温暖化対策の目標や施策の基本的方向に係る事項を定め、実施計画は3年間を計画期間として地球温暖化対策の推進のために実施する措置や重点的に実施する重点プロジェクトを定めています。

《12の基本施策》

- ・事業活動における温室効果ガス排出量の削減の推進
- ・市民生活における温室効果ガス排出量の削減の推進
- ・再生可能エネルギー源等の利用
- ・低炭素都市づくりの推進
- ・循環型社会の形成の推進
- ・交通における地球温暖化対策の推進
- ・地球環境に係る環境教育・環境学習の推進
- ・緑の保全及び緑化の推進
- ・ヒートアイランド対策の推進
- ・環境技術による国際貢献の推進
- ・環境技術の研究開発等の推進
- ・市役所の率先取組の推進

《重点プロジェクト》

- ・低炭素都市推進プロジェクト
- ・地域行動推進プロジェクト
- ・国際貢献推進プロジェクト
- ・市の率先行動推進プロジェクト



浮島太陽光発電所(メガソーラー)

2008 年度温室効果ガス排出量(速報値：二酸化炭素換算)

	排出量(万トンCO ₂)	基準年度※増減比較 (%)
二酸化炭素(CO ₂)	2,464.2	-7.7
メタン(CH ₄)	1.9	47.6
一酸化二窒素(N ₂ O)	10.2	31.2
ハイドロフルオロカーボン類(HFCs)	8.8	-65.5
パーフルオロカーボン類(PFCs)	29.1	74.5
六ふっ化硫黄(SF ₆)	3.1	-98.5

基準年度※：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素は1990年度、その他は1995年度

<市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比>

産業部門が約74%と大きな割合を占めていますが、これは、川崎市が京浜工業地帯の中核として、鉄鋼業や化学製品製造業等の産業が集積し、首都圏の生産拠点都市として機能しているという地理的な特性を反映しているものです。

※市内の温室効果ガス排出量について、2009年度(速報値)は算定し次第、ホームページ等で公表いたします。

市内の二酸化炭素排出量の部門別構成比(2008年度速報値)

